

～R 2 年度の自然体験活動～

わかんじきづくり



3年生が卒業記念として「わかんじきづくり」に取り組んでいます。授業時数確保のため、すべての作業を行うことはできませんが、芦安ファンクラブのご支援をいただき、12月1日(火)に完成させる予定です。学校林の枝打ちは全校生徒で行いました。枝打ちで落としたヒノキが「わかんじき」に使用されます。

「わかんじきづくり」に取り組んで

前回、3年生が芦安ファンクラブ様のご支援をいただく中で、卒業記念として「わかんじきづくり」に取り組んでいることを紹介しました。11月30日(月)5校時及び放課後を使って完成させることができました。今年度は、工程の多くを芦安ファンクラブ様に支援していただきました。芦安地区の先人が編み出した「わかんじきづくり」の素晴らしさを実感することができました。3年生の多くは、卒業後、自分の部屋に飾るのではないかと思います。実際に雪山で使ってみて、先人の知恵を体験するのも良いのではと考えました。



「アマゴ放流」

昨年度に引き続き、学校評議員(学校関係者評価委員)である伊東隆雅様にご支援をいただく中で、アマゴを放流しました。日程調整が難しく、12月23日の終業式後に有志を募りましたが、多くの生徒が参加してくれました。本来ならば、当初の目標通り、学校の前を流れる御勅使川に放流し、富士川を下り、サツキマス(アマゴの降海型)になって戻ってくることを期待したかったのですが、現在、護岸工事等によって御勅使川にはアマゴは生息できないのではないかと考えています。そこで、山の中等で繁殖したアマゴがいつの日か、御勅使川に生息でき、そして、富士川を下ることを夢見て、山に放流することにしました。また、御勅使川に生息できなくても、学校周辺の山々に生息し繁殖してくれたらいいなとも考えました。中学校の学校林に行く途中の沢、学校周辺の沢や学校の池の2チームにわかれ、放流しました。



「巣箱づくり」

ユネスコスクール（過去には野鳥モデル校）としての取り組みとして、1月20日（水）学校評議員（学校関係者評価委員）である伊東隆雅様にご支援をいただく中で、野鳥の巣箱づくり活動を行いました。来年度以降の設置になりますので、1・2年生に活動してもらいました。設置時期については野鳥の産卵他を良く学習してから決めたいと考えています。

